

道徳学習指導略案

1年2組 23名 指導者 京田 憲子

1 主題名 元気な声で（資料名「あいさつ」〈読み物－東書〉）

2 ねらい

日常生活における挨拶の大切さを知り、気持ちのよい挨拶を心掛けようとする態度を育てる。（2－① 礼儀）

3 展開に当たって

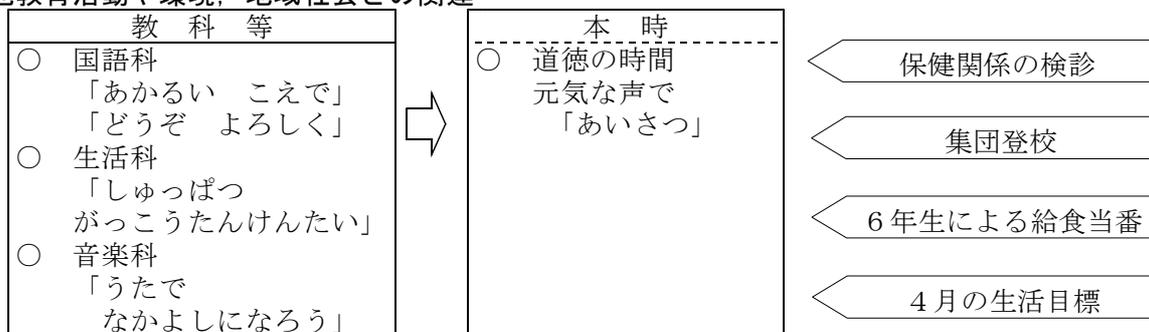
見つめる活動では、朝起きてから寝るまでにしている挨拶を想起させることで、挨拶にはいろいろな言葉があることに気付かせる。その後、挨拶は大切だと思っはいるものの、その理由については十分理解していないという子どもの実態から「あいさつは、なぜたいせつなのだろう。」という共通の問題意識を練り上げることができるようにする。

問い直す活動では、まず、挿絵の場面ではどのような挨拶をしているか考えることで、日常生活の挨拶場面を想起できるようにする。次に、挨拶をしないときの心情としたときの心情の違いに気付くことができるようにするために、挨拶をしない子どもと挨拶名人の子どもを擬似的に追体験させる。その際、自分との関わりで道徳的価値を捉え、各教科や日常生活での体験と結び付けることができるようなボードを活用する。その後、挨拶をしたときの心情を色で表す活動を取り入れることで、自分の道徳的価値に対する感じ方や考え方を明確にできるようにする。さらに、ペアで自分の考えを伝える活動を取り入れることで、自分の考えに自信をもつとともに多様な考えに気付くことができるようにする。また全体での発表後に、挨拶をされたときの心情についても気付かせることで、挨拶は、自分だけではなく相手の心情にも影響を与えることを実感できるようにする。最後に、挨拶をしたときの心情と挨拶をされたときの心情の共通点から、挨拶のよさについて気付くことができるようにする。

振り返る活動では、実態調査を手元に置くことで、今まで挨拶をしてよかった体験やそのときの心情について想起することができるようにする。

あたためる活動では、校長先生による挨拶をすることの大切さについてのVTRで流すことで、挨拶の素晴らしさを紹介し、実践意欲を高めることができるようにする。

4 他教育活動や環境、地域社会との関連



5 資料分析

本資料は、見開き1ページの資料で、朝起きてから寝るまでの間に挨拶をする具体的な場面が7枚描かれている。そのため、子どもたちが日常生活の中で挨拶をしている場面を想起しやすい資料となっている。また、場面絵の中に挨拶の言葉が入っていないため、子どもたちが今までの体験を想起しながら具体的な挨拶の言葉を考えていくことのできる資料となっている。さらに、挨拶をしている主人公やされた相手の表情も豊かに表現されているため、挨拶をしたときの気持ちよさや相手に与える影響も追求できる資料となっている。

6 本時の展開

[] 子どもの意識

☐ 教師の手立て

※評価

| 時 (分) | 主な学習活動と教師の手立て・評価 |
|----------|--|
| 5 | <p>【見つめる活動】</p> <p>1 朝起きてから寝るまでにしている挨拶を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはよう。 ・こんにちは。 ・こんばんは。 ・さようなら。 ・おやすみなさい。 ・挨拶には、いろいろな言葉があるんだな。 <p>あいさつは、なぜたいせつなのだろう。</p> |
| 27 | <p>【問い直す活動】</p> <p>2 資料「あいさつ」を見て話し合う。</p> <p>(1) 絵の中の人たちは、どのようなことを言っているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行ってきます。 ・行ってらっしゃい。 ・おはよう。 ・ごめんなさい。 ・ありがとう。 <p>(2) 挨拶をすると、どのような気持ちになるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すっきりする。 ・心が温かくなる。 ・自分の気持ちがよくなる。 ・相手の気持ちがよくなる。 <p>(3) 挨拶は、なぜ大切なのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も相手も気持ちが変わる。 ・お互い笑顔になれる。 ・仲良くなれる。 ・周りが明るくなる。 |
| 8 | <p>【振り返る活動】</p> <p>3 挨拶をしてよかった体験やそのときの心情を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室に入るときに挨拶をすると、友達が挨拶を返してくれて元気になったよ。 ・挨拶をして、友達になることができたよ。 |
| 5 | <p>【あたためる活動】</p> <p>4 挨拶のよさを実感するVTRを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が挨拶をすることで、多くの人を元気にしているんだな。 ・もっと、笑顔で挨拶をしていきたいな。 ・挨拶名人になりたいな。 |

朝起きてから寝るまでの挨拶を想起することで、日常生活ではいろいろな挨拶をしていることに気付くことができるようにする。



めあてを全員で一読することで、全員が確認することができるようにする。

◎挨拶をしている場面絵

挨拶をしない子どもと挨拶名人の子どもを擬似的に追体験させることで、挨拶をしたときの心情を実感できるようにする。また、挨拶をされた人の表情に注目させることで、挨拶をされた人の心情にも気付くことができるようにする。



※ 中心発問に対する考え方を机間指導において次の視点で評価する。

- ア 自分の気持ちを中心とした考え方
- イ 他の人への思いを中心とした考え方
- ウ 集団・社会への思いを中心とした考え方

挨拶をしたときの心情をハートのワークシートに塗らせ、ペアで自分の考えを伝える活動を取り入れることで、道徳的価値に対する感じ方や考え方を明確にしたり、多様な考え方に気付いたりすることができるようにする。

挨拶をしたときの心情、挨拶をされたときの心情から、挨拶をすることのよさについて気付くことができるようにする。



保護者の協力を得て行った実態調査を見たり、目をつぶったりすることで、今までの体験を想起することができるようにする。



毎朝、挨拶運動をされている校長先生から挨拶についての話を聞くことにより、挨拶のよさを実感し、実践意欲を高めることができるようにする。

